

令和4年6月20日

◎下村副委員長 ただいまから、産業振興土木委員会を開会いたします。

(10時0分開会)

御報告いたします。

委員長から、病気のため本日の委員会を欠席される旨の申し出がありましたので、副委員長である私が委員長の職務を行うことといたします。

また、弘田委員から、所用のため本日の委員会を欠席したい旨の連絡がっております。

#### 《委員長報告取りまとめ》

◎下村副委員長 本日の委員会は、委員長報告の取りまとめについてであります。

お諮りいたします。

委員長報告の文案については、お手元に配付してありますので、この内容の検討をお願いいたします。

報告書案を書記に朗読させます。

◎書記 産業振興土木委員会が付託を受けた案件について、その審査の経過並びに結果を御報告いたします。

当委員会は、執行部関係者の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、第1号議案、第8号議案から第11号議案、第13号議案、第14号議案、以上7件については、全会一致をもって、いずれも可決すべきものと決しました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

初めに、産業振興推進部についてであります。

第1号「令和4年度高知県一般会計補正予算」のうち、「飲食店利用促進事業委託料」について、執行部から、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰等により、大きな打撃を受けている飲食店や関連事業者を支援するものである。9月からクーポンの販売と利用を開始する計画で、クーポンの利用店舗は「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証取得店としている。この事業を通じて、認証取得店舗が増えることも期待している、との説明がありました。

委員から、高知県Go To Eatキャンペーンの際には、1セット4,000円で買えたが、今回は1万円のセットとなっている。これでは高く買い控える人もいないかと思うが、どういった検討によりクーポンの販売額を1万円にしたのか、との質疑がありました。

執行部からは、依然として厳しい状況である夜の会食や大人数の宴会に積極的に利用してもらいたいという趣旨から、5,000円券を含めた1万円のセットにした。また、1万円のセットにすることで、換金手数料や印刷費などの事務費を1億円以上軽減することができる、との答弁がありました。

さらに委員から、狙いは理解できるが、個人客中心の喫茶店などからも経営が苦しいとの声は聞かれるところであり、こうした小規模な事業者への支援も軽視することがないよう配慮願いたいとの要請がありました。

次に、中山間振興・交通部についてであります。

第1号「令和4年度高知県一般会計補正予算」のうち、「広報推進事業委託料」について、執行部から、路線バス、路面電車、鉄道等の車体や車内を活用して、連続テレビ小説「らんまん」を生かした博覧会の広報を展開し、県内外に広く周知を図るものである、との説明がありました。

委員から、公共交通を絡めた観光商品の開発も期待しているが、観光振興部と協議を行いながらそういったことにも取り組んでいるか、との質疑がありました。

執行部からは、「らんまん」を生かした観光振興については、全庁的に連携し、話合いを持ちながら進めている。県外観光客が主なターゲットになると考えており、今後、公共交通を生かした観光商品についても検討していく、との答弁がありました。

また、別の委員から、博覧会が令和5年度に開催されるので、広報を要する期間も2年にまたがる。事業の空白期間ができる心配もあるので、同じような委託が見通されるのであれば、債務負担行為による複数年契約にしたほうがいいのではないかと、との質疑がありました。

執行部からは、ひとまず今できる対応として令和4年度の補正予算に計上したものである。今後の取組についても、観光振興部と連携しながら検討していきたい、との答弁がありました。

次に、「航空路線利用促進事業費補助金」について、執行部から、高知龍馬空港を発着する航空路線は、コロナ下で旅客需要が低迷し、減便や路線廃止のリスクが高まっている。このため、運航する4社が実施する利用促進の取組への支援を拡充し、本県発着路線の航空需要の早期回復を図るものである、との説明がありました。

委員から、航空会社の方の話によると、ウェブ会議の普及などによって、航空機を使った出張などビジネス需要の低迷は今後も続きそうということだったが、これから航空需要がどのように動いていくかの情報を把握しているか、との質疑がありました。

執行部からは、各社ともに、ビジネス需要はなかなか回復しないと見通している。このため、その回復に向け、キャンペーンを日本航空や全日空のほか、JRなどの鉄道事業者が共同で行っていると聞いており、少しずつ回復に向かうのではないかと考えている、との答弁がありました。

次に、観光振興部についてであります。

第1号「令和4年度高知県一般会計補正予算」のうち、「博覧会受入環境等整備支援事業費補助金」について、執行部から、来年4月から放送される連続テレビ小説の効果を最

大限に発揮させるため、地域の受入環境整備等の取組を支援するための補助金である。各地域でしっかり経済効果を生み出すため、市町村における受入環境の整備や、案内機能強化の取組を支援していく、との説明がありました。

委員から、今回のことを契機に誘客に向けて意欲的に取り組む地域がある一方で、まだ機運が盛り上がっていない地域もあると思うが、県全域を挙げて取り組むための方策はどのように考えているか、との質疑がありました。

執行部からは、県内各地に牧野博士ゆかりの場所がたくさんある。連続テレビ小説を生かした博覧会の推進協議会には、県内の各市町村長にも参画いただいております、今後とも取組が県全体に広がるよう働きかけていきたい、との答弁がありました。

別の委員から、牧野博士は全国で植物採集をしており、連続テレビ小説でも各地が取り上げられると思われる。そうした県外の地域とも連携を図りながら高知県を売り出していく戦略も考えているか、との質疑がありました。

執行部からは、牧野博士が晩年を過ごし、記念館もある東京都練馬区や、採取した植物の標本が保管された研究所があった神戸市とは、お互いにPRし、送客し合う方策を協議している。牧野博士と関連の深い地域とは、しっかりと連携を図って誘客に取り組んでいきたい、との答弁がありました。

次に、土木部についてであります。

第1号「令和4年度高知県一般会計補正予算」のうち、「五台山公園観光推進事業委託料」について、執行部から、連続テレビ小説を生かした博覧会の開催に合わせ、園内を季節の草花で彩るとともに、休憩場所の設置などを行うための経費である。園内の五ノ台に、鉢植えやガーデンファニチャーを設置するとともに、休日等にはキッチンカーの出店などを行いたいと考えている、との説明がありました。

委員から、鉢植えの設置や植栽の在り方に関し、公園全体のトータル的なプランがないと、統一感のないものになってしまう懸念があるが、牧野植物園などとも連携した検討は行われているのか、との質疑がありました。

執行部からは、委託事業者の選定はプロポーザル方式で行い、提案については、牧野植物園や竹林寺にも加わってもらい、五台山全体の振興に資するという観点で評価を行って委託先を選定するように考えている、との答弁がありました。

さらに委員から、牧野博士が収集・研究されたのは山野草であり、プランターで公園を彩るとするのは違和感があるかどうか、との質疑がありました。

執行部からは、公募の実施までにはまだ期間があるので、牧野植物園や竹林寺とも協議を行う、との答弁がありました。

続いて、報告事項についてであります。

中山間振興・交通部についてであります。

とさでん交通の令和3年度決算と、本年10月に予定されている高知市内のバス路線再編等の概要について、報告がありました。

委員から、利用者の少ないバス路線の廃止等について、移動の代替手段も確保されており、やむを得ないことは理解できるが、乗り継ぎの方法や出発時刻などに関し、事業者だけでなく、県、市町村からも住民に丁寧に周知するよう努めてほしい、との要請がありました。

以上をもって、産業振興土木委員長報告を終わります。

◎下村副委員長 それでは御意見をどうぞ。

小休にいたします。

(小休)

◎ よくまとまっています。

◎下村副委員長 正場に復します。

それでは、ただいま協議いたしました文案により、本会議で委員長報告を行うことにいたします。

なお、細部の文案の調整は一任いただいでよろしいでしょうか。

(異議なし)

◎下村副委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

#### 《閉会中の継続審査》

◎下村副委員長 次に、「閉会中の継続審査の件」を議題といたします。

お諮りいたします。当委員会は閉会中も継続して審査並びに調査をしたいので、お手元に配付してある案のとおり申し出ることに御異議ありませんか。

(異議なし)

◎下村副委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

以上で日程は全て終了いたしました。閉会の前に委員の皆さんに2点ほどお諮りしたいことがあります。

まず1点目といたしまして、「出先機関調査の取りまとめの委員会」を7月28日木曜日の午後1時から行いたいと思っておりますが、どうでしょうか。

小休にいたします。

(小休)

—日程について協議—

◎下村副委員長 正場に復します。

それでは、7月28日木曜日の午後1時から開催したいと思います、御異議ありませんか。

(異議なし)

◎下村副委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

なお、取りまとめ項目については、正副委員長一任とさせていただきたいと思います。次に、委員会の県外調査の候補地について、書記に説明させます。

◎書記 県外調査の候補地について御説明いたします。

お手元の資料、「産業振興土木委員会県外視察日程案」と書かれたものを御覧いただけますでしょうか。

まず1日目は、神戸空港へ飛び、兵庫県庁でICT活用工事普及拡大の取組について調査を行い、神戸で宿泊。翌日、大阪に移動し、高知県大阪事務所で業務概要の調査を行った上で、公益財団法人大阪観光局、大阪中央青果株式会社、株式会社うおいちで、本県との経済連携強化戦略に関して、期待する事項や関西圏への出荷拡大に向けた課題などについて調査する予定としております。最終日は、FDA神戸空港支店で、高知－神戸線の現状を調査する行程案となっています。

日程案の下には、調査先候補の資料と地図をつけています。

本日は、調査先候補と日程を決めていただけたらと思います。

調査先との交渉はこれからになります。本日決定していただく内容に従いまして、事務局で交渉に入ります。この候補以外で希望があれば、また調整したいと思います。

以上です。

◎下村副委員長 それではこのことについて協議したいと思います。

御意見をどうぞ。

小休にいたします。

(小休)

－候補地について協議－

◎下村副委員長 正場に復します。

それでは、調査先については、お示しのとおり、関西方面としたいと思います。

なお調査日程については、8月30日から9月2日の間の日程で、2泊3日ということで決定したいと思います、これに御異議ありませんか。

(異議なし)

◎下村副委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

なお、細部については、正副委員長に一任をお願いしたいと思います。

以上をもって、日程は全て終了いたしました。

これで委員会を閉会いたします。

(10時18分閉会)